

令和2年7月12日

品川総合福祉センター職員 各位

事務局長 小野 孝

新型コロナウイルス対策

令和2年7月11日夕方、かえで荘職員1名が新型コロナウイルスの陽性反応が出たとの報告がありました。

該当職員は感染の疑いがあった日以降、持病で自宅療養していました。医師からの許可で7月9日に勤務し、その日の夜、濃厚接触者であることが判明し、以降は出勤停止となっています。7月10日にPCR検査を受け、翌日11日夕方に結果が出ました。

7月12日品川区保健所よりかえで荘に以下の内容で、今後の対応について指示がありました。

- ・該当職員は業務中マスクをしており、その他の出勤職員も同様であった事、一緒に食事をする等の事実はない事を勘案し、当日の出勤職員は濃厚接触者にはあたらない。
- ・利用者について、濃厚接触に該当する者はいないが、直接介助を受けた利用者7名については念のため隔離対応をし、PCR検査を受けることとする（7月13日午後）。
- ・該当職員と他施設の利用者、職員について、接点はないので施設の営業について制限するものではない。但し、関わる方々の体温チェックなど十分注意すること。

保健所からの指示にはありませんでしたが、感染リスクを下げるため、本部内職員の動線を制限する対応を当面実施することとします。

- ・かえで荘職員のタイムカード、更衣についてはかえで荘内での対応。
- ・かえで荘職員の移動は3号機横階段のみとする。

以上が経過の詳細です。状況を正しく把握し、適切な対応に努めてください。

職員の皆様には通常に増して、プレッシャーのかかる業務とは思いますが、注意喚起の上、3密を避けた対応、不要不急の外出自粛、体調コントロールについて引き続き注意していただきますようお願いいたします。体調の変化があればすぐに報告し、職場で指示を仰ぐようにしてください。